平成30年12月吉日　　氷　川　神　社　社　報　　(第153号)

# ひかわ

発行所
氷川神社社務所
〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-44-19
電話 03-3314-4147
FAX 03-3315-0034
https://koenji-hikawa.com/

発行責任者
松井 美加子

## 花園神社大酉祭正式参拝を終えて

正式参拝後に参加者で記念撮影(花園神社社務所前)

11月25日に高円寺氷川神社一行(氏子総代会、氏子青年会、氏子)で花園神社(新宿)を訪問しました。花園神社と高円寺氷川神社の先代宮司同士が懇意にしていたことから毎年花園神社最大の年中行事である大酉祭に訪問して正式参拝をさせて戴いております。

今年は当神社の体制一新もあり、氏子青年会会員以外からも総代会役員、会員や氏子の方もご参加戴き、総勢30名となりました。

一行は高円寺駅に集合し、全員で花園神社まで移動しました。新宿駅や花園神社周辺は多くの人で大混雑しておりましたが、皆で助け合って(?)無事に花園神社に到着しました。境内も参拝者で賑わっており無数の熊手や提灯の風景にも圧倒されました。そして社務所内から拝殿に御案内され、正式参拝が始まりました。境内の賑やかな雰囲気とは異なり、厳かな雰囲気を心身で感じるものでした。正式参拝終了後は直会となり、花園神社による手作りの温かい豚汁などを戴きました。毎年このような暖かいおもてなしを賜り、参加者全員で改めて感謝の気持ちを抱きました。直会時には花園神社宮司の片山裕司様にもお声をかけて戴き、大変有意義な時間を過ごすことができました。氏子青年会からは新たな若手の方々の参加者もあり、大変頼もしく嬉しいものでした。花園神社の深いご協力に感謝することを忘れずに、来年以降も定期的に続くことを祈念します。

直会の様子

賑やかな境内

平成30年12月吉日　氷　川　神　社　社　報　(第153号)

# 氷川神社 年末の境内大掃除

**大量の収穫？！を前に全員集合して写真撮影をしました**

12月9日に氏子地域の皆様と一緒に境内清掃を行いました。今年9月より開始した毎日の境内清掃は順調に進んでおり、日々神社が清らかに変化していくことを実感しておりますが、今回は日頃からお世話になっている氏子地域の皆様と一緒に境内清掃を実行したいと考えて前広に告知活動を開始し、呼びかけてきました。

当日は想像を超える？！40名前後の方々に御参加戴きました。開始時間より早く集まって戴き、嵐のごとく？！清掃開始となりました。地元老人会の「宝扇会」の皆様は特別ユニフォームを着用になられておりとても心強く、参拝者からも「素晴らしい企画ですね」とお声を頂戴しました。

境内にある大銀杏大木のイチョウの葉が落ちてくるのがとても遅れていましたが、12月になってから急速に落ち始めて清掃前日には境内一面が黄金に輝く落ち葉で一杯になりました。しかし宝扇会の皆様を中心にてきぱきと落ち葉の収集が進められ、あっという間にゴミ袋50袋程度の落ち葉が集められました。また神輿庫の掃き掃除や窓の清掃、気象神社や末社の社殿も清掃することができました。

終了後は、温かいお茶やお菓子をとりつつ、皆で慰労を労い合いました。参加者からは「もっと定期的に集まろう」「こういう機会があればいつでも来るわよ」と、とても力強いお言葉を戴きました。清掃活動ももちろん大切ですが、氏子の皆様が集まり、一体感を醸成することこそ肝要と考えておりますので、今後も皆様が気軽に集まれる行事を考えて、確実に実行していきたいと改めて認識しました。

平成30年12月吉日　　氷　川　神　社　社　報　　(第153号)

## 境内清掃の様子

神輿庫の清掃

清掃終了後のお茶タイム

## 大広間畳を新調

新しい年を迎える前に老朽化していた社務所大広間の畳を新調しました。凡そ10年ぶりの新調となりました。

日頃からお世話になっている福島畳店さんと協議して、旅館ホテル、一般住宅でも幅広く採用されているすき和紙からできた「健やかおもて」という畳を採用することにしました。

従来の井草畳より防腐防虫効果があり、色あせもしづらく、防水効果があり、飲み物をこぼしても簡単にふき取ることができるようです。普段から稼働している大広間も畳が生まれ変わったことで再び頑張ってくれることと思います。

新調された畳

# 氷川神社の匠

～其の二～

今年9月より開始した毎日の境内清掃は順調に進んでおり、日々神社が清らかに変化していくことを実感しておりますが、それに加えて境内各所や備品などの修復、整備も並行して開始しました。金子さんと山本惇さんが中心となり、老朽化、損傷したものを丁寧に手作業で修復し、新たな命を吹き込み、また新たなものを作り出してくれてます。

今月紹介するのは「気象神社整備」です。気象神社には毎日多くの参拝者が訪れます。今回金子さんと山本さんにより気象神社社殿周辺と参道脇に新しくきれいな玉砂利を敷設してもらいました。気象神社社殿は周辺の溝を清掃した後に、玉砂利を敷設しました。参道には木材を据え付けてスペースを確保して玉砂利を敷きました。施工後は見違えるようにとても明るい雰囲気になりました。参拝された方々の気持ちも清々しくなることと思います。

玉砂利敷設後の
気象神社

手際よく仕事が進められる

新しくきれいな玉砂利を敷設

周辺の溝を清掃

# 氏子青年会半纏を新調

今般氏子青年会の半纏を新調しました。これまで使用していた半纏も古くなってきており、また今年は宮司も代替わりしたこともあり、氏子青年会の飛躍と繁栄を祈念し、半纏を新調することに決めました。前回の半纏制作時にもお世話になりました豊喜屋(とよきや)さんに今回も制作依頼をしました。制作後には、司ネームさんに依頼して会長などの役職名の刺繍を施してもらいました。出来上がったばかりの半纏を最初に着用した行事は一面でも掲載した花園神社正式参拝でした。以前の半纏より明るい色彩であり、参加された氏子の皆様からも好評でした。

これからも氏子青年会と協業する定期行事を増やしていくことで、より多くの若い世代の方々に氏子青年会に入会してもらうように、神社側も努力していく所存です。

氏子青年会の方々

新しい半纏

# ★こうえんじん★　～第四話～

氷川神社の運営に日頃からご協力戴いている方々にそれぞれの想いを自由に語って戴きます。

題名の「★こうえんじん★」は「こうえんじ(高円寺)」と「じん(人)」を組み合わせた言葉(題名)です。

第四話は氷川神社氏子青年会会長を務めて戴いている由井営太郎さんです。

**由井　営太郎**（ゆい　えいたろう）

由井建設㈱　代表取締役会長

## 「わが街　高円寺」

平素は大変お世話になっております。氏子青年会の会長を務めております由井営太郎です。今年は天皇陛下奉祝三十年であり、来年は御代替わりの年ですね。新元号も決まります。戦後で三回目の元号となるわけですが、平成の時代は災害の多い三十年間だったように思います。

私は信州生まれで、昭和二十七年、六歳の時に高円寺(当時は馬橋四丁目)に引越しまして、六十六年間高円寺の住人として生きてきました。学生時代から結婚、子育て、仕事と高円寺でお世話になってきました。古希の歳に親父から受け継いだ会社を息子にバトンタッチして、もろもろ引き受けていた役職も全て卒業させてもらいました。残された人生は高円寺に恩返しをするつもりです。

高円寺には江戸時代前から桃園川という川が流れてましたが、五十年前の東京オリンピックの時にフタをされて、あげくに下水にされてしまいました。この川を二〇二〇年の東京オリンピックまでに、一部分ですが〝せせらぎ〟を取り戻したいと、地元の友人たちと「桃園川のせせらぎを甦らせるプロジェクト」という活動をしております。先日、桃園川を題材にした市民劇を、座・高円寺で二度公演しました。

市民劇「クリスマス・キャロル」
～桃園川の精霊～

市民劇で熱演する由井さん

又、今年は二十数年ぶりに氏子青年会会長を引き受けました。四十代の時以来二度目の会長です。氏子青年会は昨年に設立五十年を迎えましたが、会員の高齢化など問題が山積みしております。松井新宮司のもとに会員や組織を改編して新元号の来年を新たな船出の年としていきたいと思います。世界的に多くの災害や紛争が続いておりますが、混沌とした世の中ほど、神道の精神が求められます。氷川神社を高円寺の鎮守としてこれからも守っていければと祈念いたします。

氏子青年会のため、地域の皆様のご指導ご鞭撻を賜れば幸いです。

由井さんにはいつも神社の行事で取り纏めを担って戴いており大変助かっております。

## 自己紹介

氏名　：　由井 営太郎 (ユイ エイタロウ)
生年月日：　昭和21年9月30日
出身地　：　信州佐久
血液型　：　O型
趣味　：　特になし
特技　：　特になし
座右の銘：　我以外皆師
一言　：　桃園川にせせらぎを甦らせよう

## ハワイ神社参拝③

9月にハワイオアフ島を訪問し、在オアフ島の神社を参拝してきました。毎月1社ずつ訪問記を報告させて戴きます。今月は「ハワイ出雲大社」です。

### ハワイ石鎚神社

ホノルル中心部からも近い場所に鎮座するハワイ石鎚神社は、突然神の声を聞いた広島県出身の三宅志奈さんが四国の石鎚神社で修業し、その分霊を受けたのちにハワイに移り、病気平癒祈祷や教科活動地道に続けて徐々に信者を集めて1918年に設立したと言われております。その後三宅志奈が日本に帰国し、石鎚神社と松山の多賀神社で修業した木村富次が2代目宮司となり、ホノルル神道連盟に加盟しました。

1941年にはFBIにより木村宮司は拘束され、アメリカ本土に身柄を移されたこともあったが、戻り次第、没収されていた社殿も返還されて、祭祀などが再開されました。その後広島県より宮大工を招き、本格的な社殿を建築して現在に至っています。

社殿と立派な建築

鳥居から境内の様子

立派な鈴緒

## 今年の一文字は?!

日本気象協会が毎年実施しているその年の気象を漢字一文字で表す企画が今年も気象神社で行われました。今年は西日本を襲った豪雨、北海道地震、災害級の猛暑、度重なる大型台風などが私たちの生活を脅かし、忘れることができないものでした。今年は気象予報士や一般の皆様によって「災」「荒」が選ばれました。

## 江戸町火消創設三百年

11月25日に江戸消防記念会による「江戸火消創設三百年記念式典が都内ホテルで開催され、当神社は招待を受け参加、一千名を超える方々が集まり、盛大な会で驚きました。

今から三百年前に「いろは四十八組」の町火消が江戸に誕生手から今日まで歴史と伝統を育ててきました。まさに江戸東京の文化の象徴をするものでした。徳川家や大岡家、小池都知事などが来賓のご挨拶をされて、また政界財界からも多くの著名人がご列席されておりました。

祈念式典の様子

## お知らせ

### ◆ホームページ開設

かねてより準備を進めてきましたホームページが完成し12月から公開しました。参拝者にとって有意義な情報を提供できるように運営をしていきます。URLは一面右上にも記載しております。

ホームページトップ画面

URL : https://koneji-hikawa.com/

## 編集後記

ひかわ153号をお送りしました。12月に入りましたが日中は暖かく感じる日もあります。平成30年も本当にいろいろな出来事がありましたが、当神社の長い歴史においても一つの転換点だったと思われる年でした。本当の勝負は来年です。氏子の皆様が自然に集まってくれる神社にすることを常に考えそして迅速に行動に移す日々になると考えてます。社報「ひかわ」発刊もしっかり継続して参ります。